

荒井駅 周辺地区



東西線の車両基地が立地しているほか、土地区画整理事業により戸建住宅を中心とした新たな市街地が形成され、その周辺には豊かな田園が広がっています。仙台東部道路の仙台東インターチェンジ(仙台東IC)付近では、土地区画整理事業による仙台工業団地の移転が進んでいます。

まちのトピックス

荒井タウンマネジメントの取り組み

土地区画整理事業により誕生した新しいまちのまちづくりの担い手として設立されたまちづくり会社です。地域のコミュニティ形成や賑わい創出なども含めた、いわゆるエリアマネジメントを行っています。令和4年度からは企業の通勤バスを活用した日中の移動手段の確保に向けた実証実験も行われました。

1 仙台工業団地の移転

操業環境の改善と機能向上を目的に、土地区画整理事業による仙台東インターチェンジ付近への移転が完了しました。移転先において、新たな土地利用が開始されています。

2 仙台市図書館 荒井サービススポットの開設

荒井駅舎内のせんだい3.11メモリアル交流館内に、予約した市図書館の本などの受け取りや返却ができる「荒井サービススポット」が令和5年6月に開設されました。

せんだい海手線(うみのてせん) ループバス

夏休み期間(令和5年7月17日~8月20日)に合わせて、海浜エリアの観光スポットを巡るバスが運行されました。荒井駅を起点に、せんだい農業園芸センターから南下する右回りと、ゆりあげ港朝市から北上する左回りが8便ずつ運行されました。



地区の魅力・資源

仙台GIGS

駅から徒歩1分の場所に立地し、東北最大収容数を誇るライブホールです。客席が近く、音響・防音・空調設計にこだわった空間から様々なライブ・イベントを発信しています。

せんだい3.11メモリアル交流館

東日本大震災による津波で大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域の玄関口となる駅に併設した施設です。各種展示や交流スペース・スタジオでのワークショップ等を通じて、震災の記憶と経験を継承していきます。

荒井車両基地

東西線運行の重要な役割を担う荒井車両基地。地域との連携に向けて施設を利用したイベントも実施されています。

荒井東1号公園(スポーツパークSPiA)

都市再生特別措置法を活用し、官民連携により整備された公園です。フットサルコートやテニスコート、クラブハウスが整備され、民間事業者が管理・運営を行っており、地域の方だけではなく、市内外の方々に利用されています。

長喜城地区の居久根(いぐね)

長喜城地区には、かつて風雪から家屋敷を守り、食料や建材、燃料として利用するために敷地を取り囲むように植えられた屋敷林が現存しており、仙台市の保存樹林に指定しています。



将来のまちの姿

快適な暮らしと訪れる楽しさをあわせ持つ、東部地域の玄関口となるまち

駅周辺には新たな住宅地や豊かな田園風景が広がり、沿岸部には海岸公園のほか、東日本大震災の震災遺構、防災集団移転跡地を活用した観光・交流施設などの立地が進んでいることから、地域のまちづくり団体による取り組みや商業機能の誘導、駅を起点とした回遊性向上などにより、住む人が暮らしやすく、来訪者が楽しめるまちの形成を目指します。



該当する施策展開の方向性

- 方向性① 持続可能で日常生活を安全安心に過ごせる市街地環境の形成
- 方向性② 駅を中心に便利で移動しやすい住宅地や交通環境の形成
- 方向性③ 暮らしの質を高める美しい街並み景観の形成
- 方向性④ 産学官金連携による地域産業の活性化
- 方向性⑤ まちづくり団体や地元商店街による地域の活性化
- 方向性⑥ 沿線の多様な資源に触れることができる空間の形成

取り組み施策

エリアマネジメントによる取り組み支援

- 1 **継続** 土地区画整理事業で誕生した新しい街の交流や賑わいの創出に向け、都市再生整備計画に基づき民間事業者が行うエリアマネジメントの取り組みを支援します。
- 2 **継続** 荒井東地区においては、民間活力を活かした持続的なまちづくりを進めるため、都市再生整備計画を活用し、荒井東1号公園の民間事業者による運営管理などの取り組みを支援します。
- 3 **中期** 駅を起点に、通勤・通学のための移動手段の確保に向けた民間事業者の取り組みを支援します。

脱炭素の推進

- 4 **継続** 荒井東地区においては、特定のエネルギーに過度に依存せず、暮らしに必要なエネルギーを自ら効率的に作り出すことのできるまちづくりを推進するため、事業者との協働により、太陽光発電、蓄電池などの設備を活用したエネルギーマネジメントに取り組みます。

地域景観資源の保全

- 5 **継続** 本市の保存樹林として指定されている長喜城地区の屋敷林をはじめ、東部地域の歴史・文化的な農村風景を構成してきた「居久根(いぐね)」の保全や活用を図っていきます。

地域コミュニティの維持・活性化

- 6 **中期** みどりを活用したコミュニティ、地域づくりを推進するため、土地区画整理事業地内の公園については、子育てや健康づくり等地域ニーズを踏まえながら、整備を進めます。
- 7 **継続** 主体的に課題や魅力を掘り起こし行動していく元気で活力ある地域を育むため、課題の抽出から解決に至るまでの地域が主体となった取り組みに伴走して支援します。

短期 2023 (令和5) 年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 中期 2026 (令和8) 年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 長期 2030 (令和12) 年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 継続 計画期間中、継続して取り組む施策

- 市が市民の取り組みを支援・誘導する施策
- 市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策
- 市が実施・検討する施策



駅周辺にふさわしい土地利用や施設立地の誘導

- 8 **継続** 駅北側の市街地調整区域においては、駅から徒歩圏という利便性を活かし、地域が主体となった新たな市街地形成に向けた取り組みを支援します。
- 9 **中期** 操業環境の改善と機能向上を目的に、仙台東インターチェンジ付近への移転が完了した仙台工業団地が進める土地区画整理事業が着実に進むよう支援します。
- 10 **中期** 駅周辺の低密度利用となっている地区においては、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、駅前にふさわしい商業機能等を誘導します。

アグリビジネスの創出

- 11 **継続** 仙台東部道路の東側や市街地の南側に広がる田園地域においては、6次産業化や農商工連携などの新たな取り組みに対する支援を行うとともに、SNSなどを活用した情報発信と地産地消の機会を創出します。

集客交流軸の深化・創出

- 12 **継続** 荒井駅に併設するせんだい3.11メモリアル交流館においては、東日本大震災の被災状況や復興の様子、東部沿岸地域の魅力が多様な人々に伝わるような展示やワークショップなどを実施していきます。
- 13 **長期** 東部沿岸地域には、海岸公園や震災遺構のほか、防災集団移転跡地には新たな観光施設なども立地していることから、それらの地域と最寄り駅である荒井駅、周辺の市民利用施設などをつなぐ移動手段について、防災集団移転跡地の利活用事業者等と連携しながら検討します。

公共交通の利用促進

- 14 **継続** 公共交通の利用を促進するため、パークアンドライド駐車場である荒井駅前駐車場と地下鉄を相互利用した場合の優待サービスなどを継続していくほか、交通結節点である荒井駅に結節するバスの均一運賃制度の継続も含めた持続可能な公共交通の維持に資する運賃制度について検討します。